



平成 22 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード 番 号 3088 東証第 1 部
代 表 者 名 代表取締役社長兼 COO 吉田 雅司
問 合 せ 先 執行役員 財務経理部長 小松 栄二
TEL 047-344-5110

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日の前期決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正

第 2 四半期累計期間の業績予想数値(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

【連結】

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	216,000	7,600	8,500	2,700	56 円 59 銭
今回修正予想 (B)	212,718	7,132	8,137	1,859	38 円 63 銭
増 減 額 (B-A)	△3,281	△467	△362	△840	—
増 減 率 (%)	△1.5%	△6.2%	△4.3%	△31.1%	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	197,637	8,024	9,024	4,822	101 円 14 銭

2. 修正理由

(1) 第 2 四半期連結累計期間の業績予想

日本経済の状況は、急速な円高の進行や株安など、先行きの不透明感から、個人消費は低価格・節約志向が依然として根強く、本格的な回復には至りませんでした。こうした経営環境のなか、顧客ニーズに合った商品の拡販、猛暑による季節商品の伸張はあったものの新規出店及び新たな連結子会社の収益貢献の遅れなどにより、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、前回予想を下回る見通しとなりました。

その中でも四半期純利益に関しては、新たな連結子会社の減損損失などが前回予想時よりも増加したことにより、前回予想を下回る見通しとなりました。

(2) 通期の連結業績予想

第2四半期連結累計期間の業績予想に関しましては、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益を減額修正いたしましたが、第3四半期以降の新規出店の加速、温度要件により季節商品や花粉飛散量の増加が想定され、ローコスト化などによる店舗効率の改善など第3四半期以降の収益改善を見込み、通期では前回予想を据え置いております。

以上